

令和5年度第1回 越前市行財政構造改革推進委員会

日時：令和5年6月30日（金）

午後1時30分～

場所：市役所3階 大会議室

会議次第

1 開会

2 協議事項

(1) 越前市行財政構造改革プログラムV【Change & Challenge & Chance】
実行計画令和4年度下半期進捗状況報告について・・・・・・（資料1）

(2) 行財政システム改革プランの策定について・・・・・・（資料2）

(3) その他

3 閉会

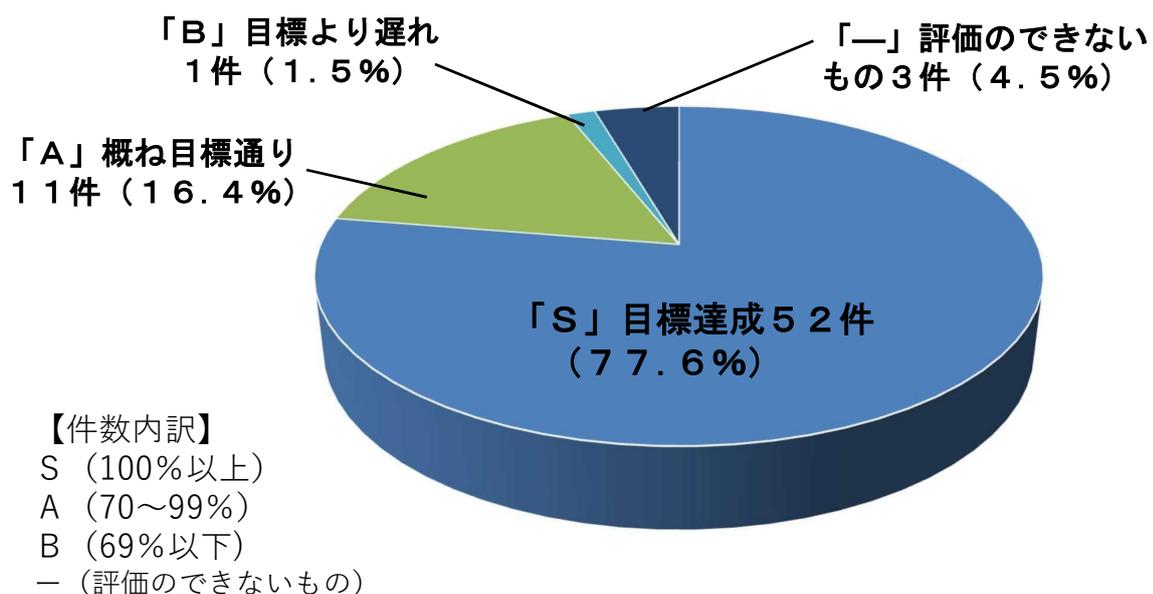
越前市行財政構造改革プログラムV (R2～5年度)

令和4年度進捗状況報告

令和5年6月30日
行財政構造改革推進委員会

◆ 行財政構造改革プログラムV「実行計画」に係る令和4年度の実行状況

(市役所分63件、消防3件、清掃1件 計67件 統合・完了2件を除く)



定量評価(数値目標があるもの)及び定性評価(数値目標がないもの)により各実行計画の達成度を評価した。

令和4年度の主要な成果

◎公共施設等総合管理計画における各個別計画の策定と実行(進捗管理) 【No. 1/財産管理課】

建物の取壊し及び地元移管を行い、延床面積の縮減を図ることができた。

令和4年度末削減面積	16,489㎡	➔	削減率 4.64% (R4末時点 目標値 4.50%)
平成29年度計画時総延床面積	355,174㎡		

【令和4年度の取組】

・武生西幼稚園 取壊し	601㎡
・行松会館(集会場) 地元移管	226㎡
・武生西小学校プール更衣室 取壊し	81㎡
・市営住宅佐山団地 一部解体	28㎡

削減面積計 936㎡

3

◎ふるさと納税の推進 【No. 10/ブランド戦略課】

市のふるさと納税の魅力を発信し、寄附金額の増加を図った。

- ・各サイトのチャンネル層にターゲットを絞ったWeb広告の活用
- ・返礼品の開発(オーディオテクニカ軟骨伝導ヘッドホン、海産物・打刃物等のラインナップ拡充)や見直し
- ・ふるさと納税の委託業者による、ふるさと納税のPRと市の観光PRを実施することで、市の魅力発信を強化した。

【令和4年度 寄附金額】

年間目標	8億円
年間実績	9億7,998万円
(令和3年度)	6億7,140万円



4

◎ UIJターンの促進 【No. 26／ブランド戦略課】

【令和4年度の成果】

移住初期支援の活用件数	9件
移住イベントや相談件数	151件
移住支援による移住者数	311人

- 移住イベントに出展(オンライン1回、対面4回)
- 電話やオンラインによる移住相談で、移住初期支援の活用をPRし、移住に結びつけた。(相談9件、移住者12名)
- ウェブサイト「住もっさ!越前市」、「日経×woman」、「SMOUT」、市HP、市広報紙等での移住情報の発信
- UIJターンに取り組む市内団体と定期的に情報交換をし、移住支援制度の周知を図った。



移住フェア (大阪)

5

◎ マイナンバーカードの普及促進

【No. 63／窓口サービス課】

- 市マイナンバーカード普及促進本部を立ち上げ、全庁体制で市内事業所に出向き、現役世代の取得促進に取り組んだ。
- マイナカーによる出張申請サポートを実施
市内ショッピングセンター、公民館、市内高校等へ出向
- 申請サポートの充実
 - ・ マイナポイント設定支援員の増員
 - ・ 期日前投票期間の夜間延長を実施

令和4年度末の申請率	85.9%
令和4年度申請件数	29,342件
令和3年度申請件数	12,091件



マイナカー
(マイナンバーカード申請サポート専用車)

6

B評価の項目（1件）について 課題と今後の対応

【NO. 6】遊休土地、普通財産の処分と有効活用

○ 令和4年度の成果

・旧花筐保育園及び栗田部体育館跡地	売却額	40,800千円
・たんぽぽ保育園跡地	売却額	16,394千円
・四郎丸町1区画	売却額	3,650千円
・法定外公共物等売却累計件数18件	売却額	10,652千円
	財産収入額計	71,496千円

○ 課題と今後の対応

- ・普通財産の新規売却可能物件の洗い出しと、その他申込みがなかった物件については、結果を踏まえ、価格の見直しを行うなど、公募要件等を精査し、公有地売却の推進を図る。

7

7

【参考】◆行財政構造改革プログラムV 数値目標達成状況（R2～R5）

項目	PV 目標値 R2～5	R4 実績	R3 実績
職員数	令和5年度末に 600人以下を維持	590人 (R5.4.1)	579人 (R4.4.1)
経常収支比率	(95.0%以内)	9月公表	90.0%
実質公債費比率	(15.0%以内)	9月公表	10.2%
将来負担比率	(150.0%以内)	9月公表	118.1%
財政調整基金 残高	(10億円以上)	23.10億円	27.97億円

8

市行財政システム改革プランの策定について

令和 5 年 6 月 3 0 日

令和 5 年度 第 1 回
越前市行財政構造改革推進委員会

1

市行財政システム改革プランの策定について

市を取り巻く現状・新たな流れ

人口減少社会 S D G s I C T 脱炭素化

自然災害の多発・激甚化 住民ニーズの多様化・複雑化

職員体制の若返り 働き方改革

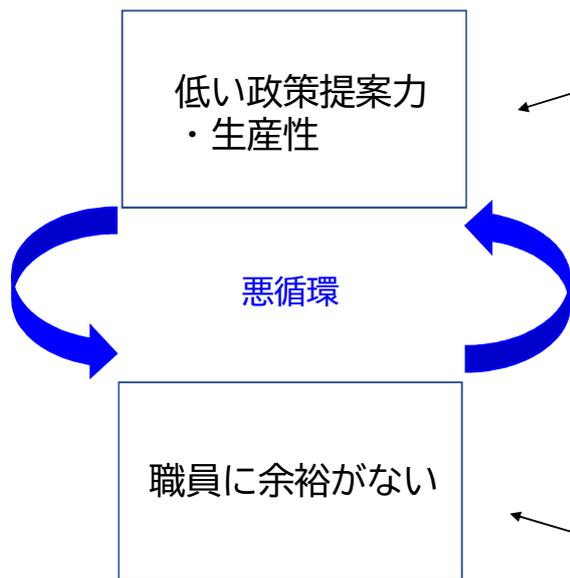
市行財政システム改革プラン策定
(計画期間：R6～8年度)

★策定のポイント★

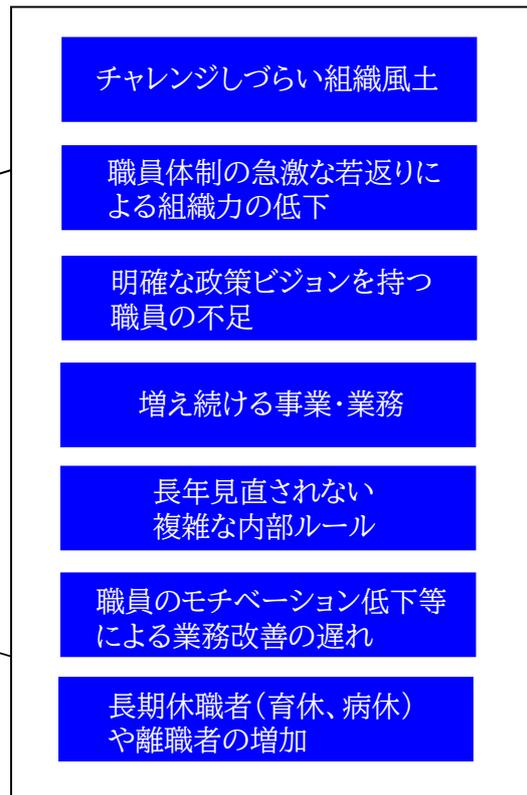
市民サービスの向上、新しい市役所の実現に向け、
既存の風土・プロセスの改革（**行財政のシステム改革**）を目指す

2

本市組織の構造的課題

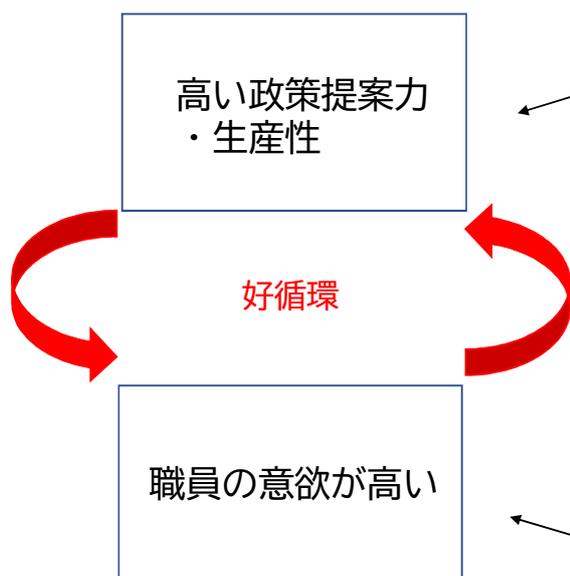


主な組織的背景

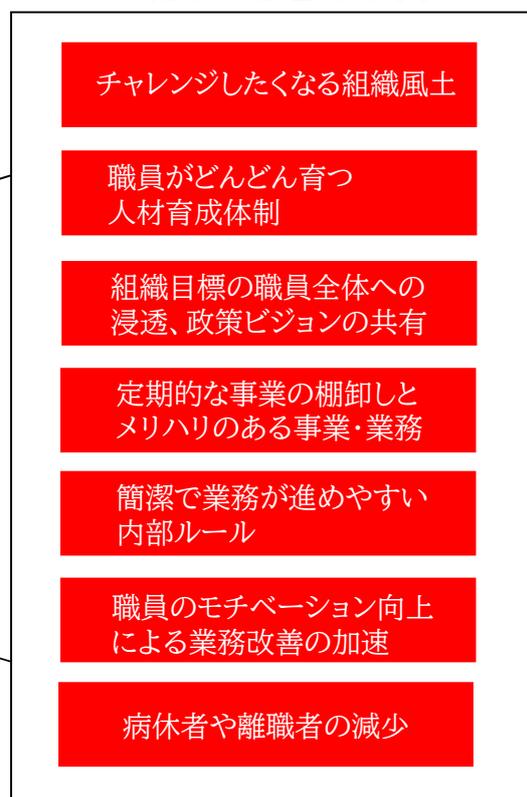


3

目指すべき組織



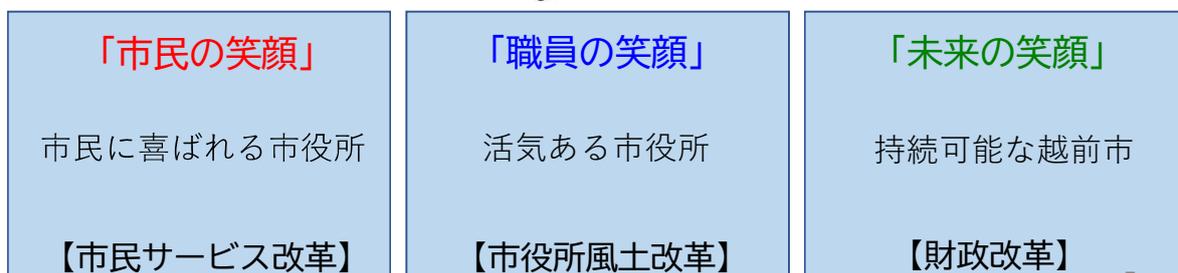
目指すべき組織的背景



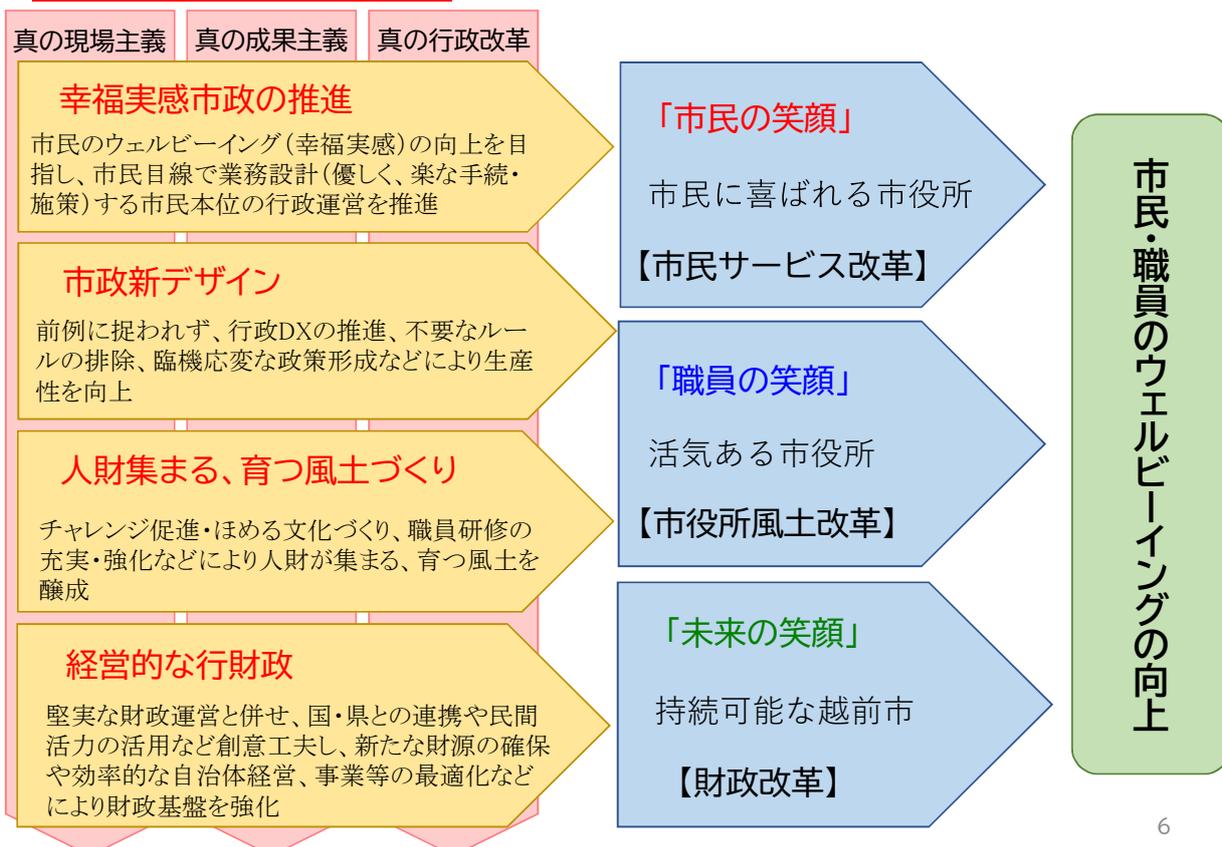
4

策定の方向性 — プランによって目指す越前市の姿 —

「量」の改革から「質」の改革へと転換し、「笑顔」を増やす



策定の方向性 — プランによって目指す越前市の姿 —



幸福実感市政の推進

- ・市が提供したいサービスではなく、市民のウェルビーイング(幸福実感)がどうすれば向上するか、市民が望むサービスが何か、市民目線で業務を考える、市民本位の意識を職員に浸透させ、市民サービスの向上を図っていきます。

【想定される施策の一例】

分類	施策の例
楽な市役所	・ICTの活用により窓口手続をもっと簡単に ・オンライン申請、キャッシュレス決済により、いつでも・どこでも窓口 ・情報公開手続によらない簡易な情報提供制度
優しい市役所	・市広報をさらに見やすく ・市民あて通知文について書き方を改善、お役所言葉をなくす
気持ちの良い市役所	・気持ちの良いあいさつで市民をお迎え
市民目線思考の定着	・クレド(職員の行動指針)を作成・継続的に活用し、市民目線での思考を職員に定着させる

7

市政新デザイン

- ・前例に捉われず、デジタル技術の活用や不要ルールの排除、臨機応変な政策形成などにより、効率的で速やかに行政課題に取り組める組織へと変化させ、市民サービスの向上及び職員の意欲の向上を図っていきます。

【想定される施策の一例】

分類	施策の例
行政DXの推進	・ChatGPTなどのデジタル化技術を活用し、業務を効率化 ・Microsoft365を活用し、業務を効率化
不要ルールの排除	・内部ルールの定期的な棚卸し ・庁内での分権改革 ・障害となる制度の国・県への見直し提案 ・業務における前例踏襲意識の排除
臨機応変な政策形成 (アジャイル型政策形成)	・トライ&エラーを認める風土づくり ・モデル事業などを活用した、小さく始めて大きく育てる政策形成
市民参加を高める取組	・DX技術の活用や実施手続の見直しによる市政への市民参加の向上

8

人財集まる、育つ風土づくり

・新しい取組やスキルアップなどへの**職員のチャレンジを促進し、その頑張り**をほめる・認める文化をつくるとともに、**職員採用・職員研修の充実・強化**などを通じて、**人財が集まる、育つ風土を醸成**することで、**職員の意欲・能力の向上と職場の活性化**を図っていきます。

【想定される施策の一例】

分類	施策の例
チャレンジ促進 ・ほめる文化づくり	・グッドジョブ賞、公募による異動などを活用し、 職員のチャレンジを促進 ・トライ&エラーを認める風土づくり【再掲】
職員採用の強化	・受験しやすい採用試験の実施 ・大学等への働きかけを強化
職員研修の充実・強化	・情報発信や政策提案力を向上させる研修などの 実施 ・OJTでの教え方研修の実施

9

経営的な行財政

・**堅実な財政運営に努めつつ、国・県との連携や民間活力の活用など創意工夫し、新たな財源の確保や効率的な自治体経営、事業等の最適化を進める**ことで、**市の財政基盤を強化し、持続可能なまち**にしていけます。

【想定される施策の一例】

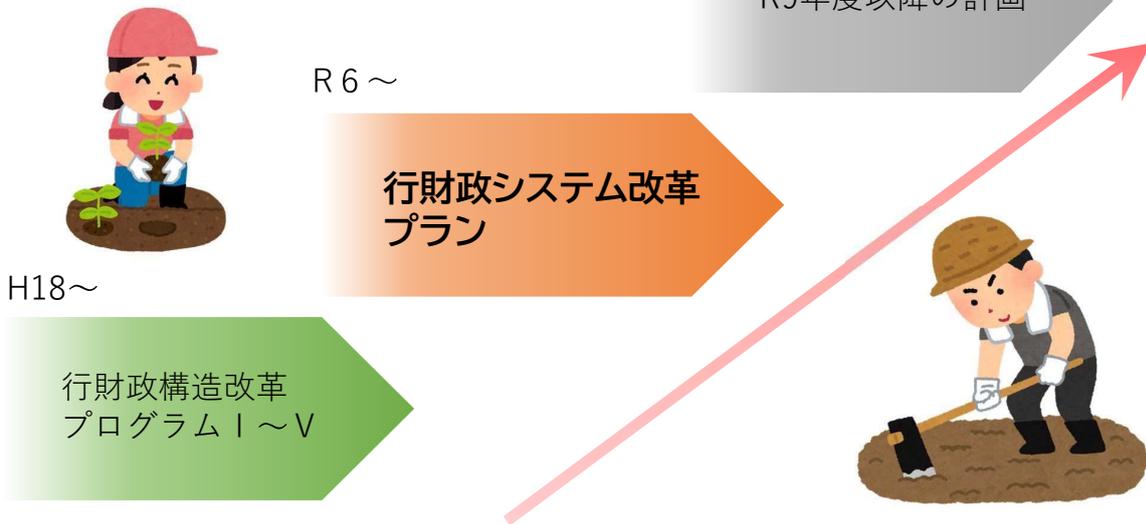
分類	施策の例
財政運営の健全化	・将来を見通した計画的な財政運営による、歳出の抑制と歳入の確保の推進
新たな財源づくり	・国・県事業と連携し、交付金等を積極的に獲得 ・ふるさと納税の強化(新幹線開業効果、大河ドラマ効果等を生かし、PRを強化)
効率的な自治体経営	・民間活力を生かし、施設の設置・管理のあり方を見直し
事業の最適化	・アウトカムを意識したメリハリのある事業設計 ・事業のスクラップ強化
施設の最適化	・公共施設の長寿命化・最適配置によるコストの削減・平準化

10

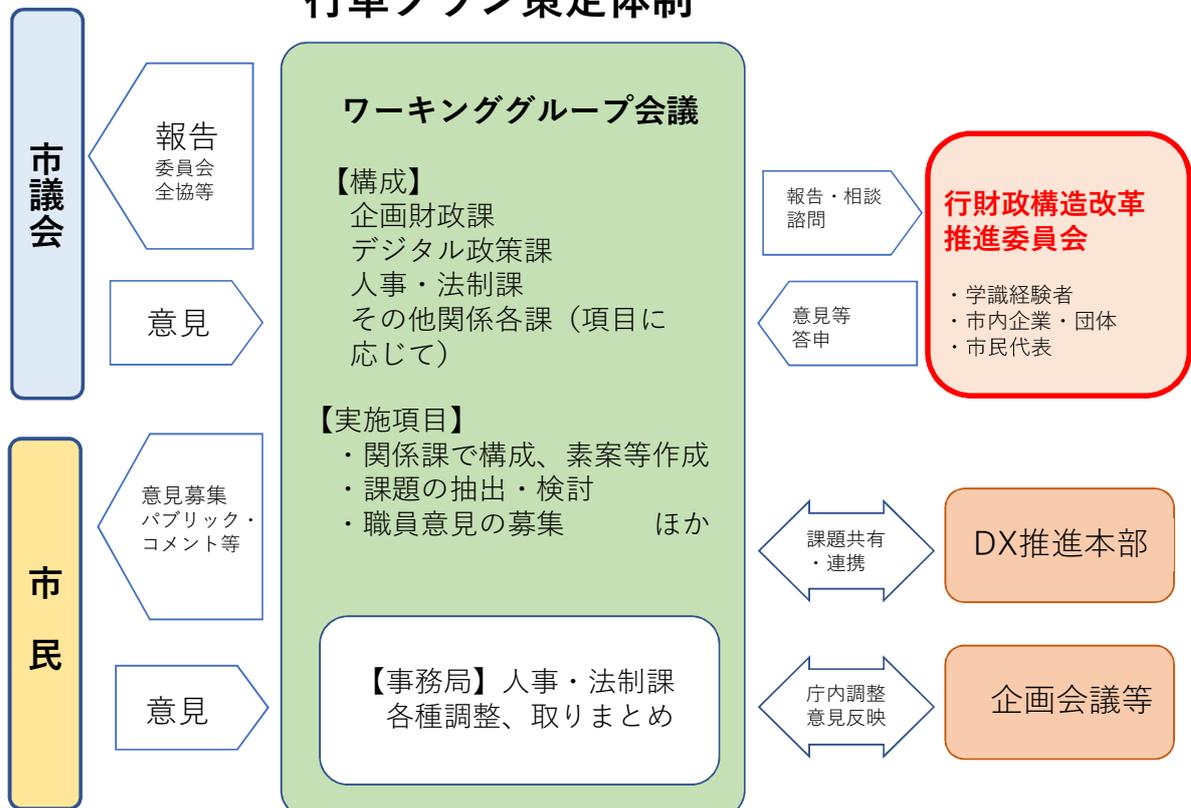
本プランの位置づけ

【今回の新プランが目指すもの】

- ・現状～将来の課題を見据え、
新たな視点に立ったはじめの一步
- ・将来の計画のための土づくり・種まき



行革プラン策定体制



今後の行革プラン策定スケジュール

令和5年 8月(8/7)	第2回行革推進委員会（骨子案）
11月	第3回行革推進委員会（計画案）
12月	パブリック・コメント（意見募集）
令和6年 1月	第4回行革推進委員会（計画案・実行計画案）
2月	市長答申
3月	計画決定（計画・実行計画）

※庁内策定体制として、ワーキンググループ会議を随時開催

※議会に随時説明（全員説明会、議員説明会、委員会等）